

はまゆう

コミュニティ
2014 春・夏号

発行：介護老人保健施設はまゆう
〒680-0924 鳥取市野寺62-1
TEL (0857)51-7801 FAX (0857)51-7810
特別養護老人ホームはまゆう
〒680-0923 鳥取市服部204-1
TEL (0857)51-7838 FAX (0857)51-7837

「のではまゆう」開設に向けて ～地域包括ケアシステムの構築に向けた新たな取り組み～

社会福祉法人 施設長 荻原 英子

急激な高齢化を背景に、国は高齢者介護政策を自宅での介護に重点化するという方向転換を果たそうとしています。これから益々高齢者が増加する中、特別養護老人ホームのような施設に入所し介護を受けることができるのは、一部の人に限られてくると予測されます。そこで、国の施策として持続可能な社会保障制度の確立を図るために、介護・医療・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を目指した改正が重ねられてきました。その中では今後、自助・互助・共助と、公的サービス(公助)のみに頼らず、まずは隣近所の住民同士で助け合うことも重要とされています。

できる限り住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳を持って自分らしく暮らしていくことのできる社会の実現をめざすためには『地域力』が地域で育つことが要件となります。その構築のためには、地域住民同士のつながりや、そこから生まれる信頼・互恵的関係など地域コミュニティの再生や新たな構築が必要です。

今年12月開所予定の特養「のではまゆう」は、地域の中にある施設としてこの目的に沿って「介護が必要になっても地元に住み続けることができる」介護サービスの拠点

となることを目指し運営します。今回特養に併せて整備する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービスは、介護や看護が必要となっても、最後まで自宅で暮らしたいと願う方の生活を24時間サポートさせていただくためのサービスです。

また、介護保険事業だけにとどまらず、健やかに暮ら続けるために健康寿命を延ばす介護予防にも貢献していきます。そして、施設内にある資源や機能・ノウハウを地域の中で有効活用していただけるように、地域ごとの小さな拠点づくりやコーディネーター役を目指していきます。既に実施している出張デイサービスや介護教室などにも引き続き取り組みます。

これらの事業運営については、地域住民の方と定期的に情報交換する機会を設け、可能な限りニーズに沿った運営を行ってまいります。

今後も地域に根付いた地域福祉活動に取り組んでまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。



鯉のぼり作品展

老健2階

老健2階では利用者様と職員の手形をとり、それらを鯉のうろこにみたてた鯉のぼりの作品を作りました。廊下に展示し、入所の利用者様は自分の手形がどこにあるか熱心に探されている様子が見受けられました。



花見ピクニックウィーク

デイサービス

デイサービスでは花見ピクニックウィークとして4/4～4/10まで市内の真教寺公園や布勢の千本桜・桜土手・用瀬運動公園の桜並木・河原城・三谷の大しだれ桜など、いろいろな場所の桜見に行ってきました。

今年はお天気もよく、桜の下で食べるお弁当はとても美味しかったです。



砂の美術館を見に行きました

デイケア



デイケアで、鳥取砂丘・砂の美術館へ見学に行きました。ロシア編・クレムリン宮殿等帝国ロシア時代の迫力ある展示に、なかなか見ることが出来ない物だから、と熱心に見学されていました。普段出歩くことがあまり無く、良い土産話が出来ましたと、好評でした。

新人紹介 よろしくお祈いします!



新人職員

杉本美紀子・高田 幸一・稲田美由紀・平尾祐太郎
 永井 圭介・西本万智子・酒井 祐子・西村 麻衣
 天鬼奈津美・金涌 未佳・平井 章・山根 法子
 池本 佑香・鈴木 容子・中尾和佳子・奥田美也子
 国森 春野・徳永 宏美・房安 皓大・金築 憲
 今岡 滉太・亀澤 香織・田淵 隆志・浅井 恵子
 岩田 麻耶・柿ヶ原奈々・竹中 奈保・山崎 忠紘
 小林 多希

理学療法士 酒井 祐子

今年4月に入社し、理学療法士として働くことになりました酒井です。私は明るい性格なので、ご利用者様と会話することで元気を分けられるようにしたいです。まだ、至らない点や不慣れな点が多いですが先輩方のご指導の下、より一層頑張っていきたいと思っています。よろしくお祈いします。

介護福祉士 国森 春野

研修の2ヶ月目を終えて、初めの頃は不安もありましたが、利用者さんとの距離を徐々に縮めるため、笑顔で挨拶することを心掛けました。これからも、一人ひとりの想いに寄り添い、その人らしい生活を支えられるよう、頑張りたいと思います。

服部神社へ散歩に行きました 老健3階



老健3階では、5月18日に服部神社へ散歩に行きました。天気は快晴で風が心地よく、皆さんが気持ち良さそうな表情をしておられました。ゆっくりと穏やかな時間を過ごすことができました。

わらべ館へ出かけました

特養3階



レクリエーションでわらべ館へ外出しました。皆さんとても懐かしそうにされ、喜んでくださいました。小さかった頃の思い出や子どもの時にしていた遊びなどを教えてくださりとても勉強になりました。

はまゆうの里10周年祭

グループホーム



3月20日、はまゆうの里10周年祭を行いました。ボランティアによる南京玉すだれや、職員による手品が披露され、拍手や歓声が上がリ、利用者さん、家族さんともに楽しめました。最後に「春の歌」を合唱し、おやつに抹茶と和菓子を頂きました。

転倒予防体操のすゝめ

高齢者が転倒して骨折し、それがきっかけで寝たきりになるケースは少なくありません。しかし、そのために高齢者が外出することを禁止し、安静を強制するのは本末転倒です。バランス力は自分で運動することで維持・向上し、安静にしているとむしろ低下するからです。今回は転倒予防体操をご紹介します。

1. 「イスに座ってラインまたぎ」

【ねらい】

足をスムーズに動かすことによって、つまずきによる転倒を防ぐ体操です

【転倒予防体操のコツ】

- ・筋力強化やバランス訓練は転倒予防に有効ですが、それだけでは十分ではありません。
- ・もっとも大切なのは転倒に対する用心深さを身につけることです。
- ・筋力やバランス力だけが転倒の原因なら、若い人は転ばず高齢者は皆転ぶことになるからです。
- ・休み時間や寝る前など、毎日続けることがコツです。3ヶ月位は続けましょう。

【方法】 反対の脚を奥に

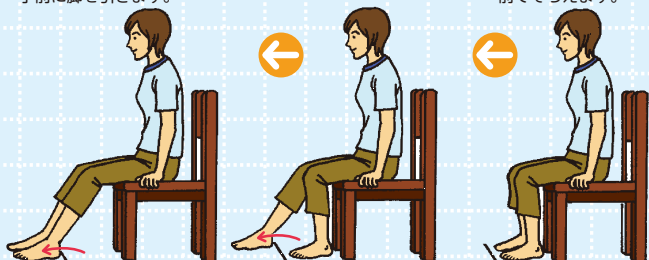
もう一方の脚を線よりも奥に出してそろえます。一連の動作が終わったら、今度は順番に線の手前に脚を引きます。

片脚の脚を奥に

片方の脚を線よりも奥に出します。

両脚を線の手前でそろえる

床にテープを貼るなどして線を引きます。イスに浅く座り、両脚を線の手前でそろえます。



寄付・寄贈、ボランティアの皆様のご紹介

寄付・寄贈

森村 章雄様/寄付金
 田中 嗣人様 田中 菊代様/寄付金、タオル、おむつ
 下田ますえ様ご家族様/お菓子
 石野 道子様ご家族様/紙パンツ6パック
 岡嶋 政明・敬子様ご夫婦/アップライトピアノ
 谷尾 英亜様/車椅子

ボランティア活動

- 歌のボランティア 石川卓男様 内田敏幸様
- 大正琴の演奏(10名様) 城北地区大正琴の会
- どじょうの会(どじょうすくい)
- 西村光司歌謡ショー
- 生花教室 長石啓子様 村上美利子様
- お茶会 小泉良子様
- アコーディオン 中嶋玲子様 斧谷 操様

ボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました。

編集後記

春も過ぎ本格的な夏を迎える頃になりました。熱中症は他人事ではありません。誰にでもおこりうることでありますので、水分補給と室温管理をし体調を整えていきましょう。より良いサービスの提供ができるよう、はまゆう職員一同も体調には注意し気合いをいれて頑張ります!